

平成30年度 学校評価表

学校教育目標：心豊かで明るくたくましい東っ子の育成

めざす子ども像： **ひとにやさしくできる子(徳)** **がんばって学ぶ子(知)** **しんが強くたくましい子(体)**

江津市立江津東小学校

	中期目標	短期目標	達成のための方策	評価指標	目標値	学校関係者評価		改善策	
						取組状況及び達成状況	評価		
豊かな心づくり	を人間推進重視の精神に基づいた教育	人権・同和教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員の研修（進路保障の取り組み）</li> <li>便り等による保護者への啓発</li> <li>全教育活動における人権・同和教育の視点を明確にする</li> </ul>	教職員研修を計画的に実施する。人権・同和教育に視点を当てた授業を行う。活動計画の中に人権・同和教育の視点を明確にする。	80%	教職員研修や授業は計画的に行うことができた。全体計画の見直しを行った。	A	充実した取り組みができていると感じる。今後も続けて取り組んでほしい。	人権感覚の育成に向け、取組を関連させていながら、計画的に取り組む。 ・年間計画の見直し ・各取組のねらいとつけたい力の明確化
		よりよい生き方をめざす道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料や題材の工夫と活用</li> <li>道徳の時間と日常生活の連携を図る。</li> </ul>	年間指導計画にもとづいて指導する。考え議論する道徳の実践を目指す。	80%	計画に沿って実施できた。人権・同和教育の推進と関連させた取組もできた。	B	子どもたちが、落ち着いていると感じている。	赤ちゃん登校日と総合的な学習の時間とのリンク付けを強化する。
		特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内支援体制の充実</li> <li>個別の指導計画、支援計画の作成</li> </ul>	個別の支援ができるように、特別支援教育コーディネーターと連携を図る。	80%	コーディネーターを中心とした支援会議を定期的実施し、個別の支援計画の作成、共有を進めることができた。	A	赤ちゃん登校日は今後も続けてほしい。	
		コミュニケーション力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間関係構築力を学ぶ赤ちゃん登校日</li> <li>伝え合いを意識した授業を積極的に取り入れる</li> <li>学級通信等で保護者へ啓発</li> </ul>	伝え合う力の育成をめざした学習活動を取り入れ、コミュニケーション力の向上を図る。	80%	話す・聴くことに重点を置き、また学び合いによる授業づくりに取り組んだ。今後さらに進めていく必要がある。	B		
確かな学力づくり	る基礎・基本の定着を図り、考え	基礎的・基本的内容の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>東っ子チャレンジ会（漢字、計算）</li> <li>書写タイム</li> <li>朝学習</li> </ul>	東っ子チャレンジ学級平均80点以上朝学習に基礎・基本的な学習に取り組む。	80%	概ね達成できたが、個人差がある。個人差への対応が十分でなかった。	B	基礎基本の徹底を図ってほしい。	
		魅力的で創造的な授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>粘り強く学び、思考力を高める学習</li> <li>学習課題を明確にした授業づくり</li> </ul>	学び合いによる授業を行う。学習課題を明確にした授業を行う。	80%	学び合いによる思考・判断・表現の充実をねらったが、今後も継続する必要がある。	B	家庭学習の充実に努めてほしい。	
		図書館活用教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書指導の充実</li> <li>司書教諭と連携した授業の実施</li> <li>学級通信等で保護者へ啓発</li> </ul>	1人あたりの平均貸出冊数 90冊 司書教諭と連携をとって図書館を活用した授業の回数(2回以上)	80%	学校司書と学級担任等の連携が深まり、活用に取り組んだ。	A		
		家庭学習の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習カードの活用(学年×10分)</li> <li>家庭学習の手引きの活用</li> <li>学習課題の充実</li> </ul>	(学年×10分)の達成率	80%	基礎基本の徹底を図るための家庭学習の習慣化をねらっているが、不十分である。	B		
たくましい体づくり	基礎体力の向上生活をめざし、	基本的生活習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつ、返事</li> <li>はきものそろえ</li> <li>生活目標への位置づけ、児童会活動と連携して行う</li> </ul>	元気よくあいさつ、返事、くつ箱、トイレスリッパをそろえることができる。	80%	くつそろえはずいぶん意識してできるようになってきたが、後はまだ十分とはいえず、課題である。	B	今後も、なかよし班を活かして、学年を超えて仲良くする児童を育ててほしい。	なかよし班活動年間計画の作成をし、活性化を図る。 児童会活動とのリンクをする。
		体力づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力向上推進計画の共通理解と徹底</li> <li>児童会活動との連携した活動の実施</li> </ul>	運動が好きな子の割合	80%	体力づくりに計画的・積極的に取り組む必要がある。	B	あいさつの徹底を図っていききたい。	あいさつができる子の育成に努める。 ・あいさつ運動等
		給食指導、食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養教諭による食の学習</li> <li>日常給食指導の充実</li> </ul>	日常給食指導を行うとともに、栄養教諭と連携した食の学習を計画し、実施する。	80%	どの学年も1回は栄養教諭の先生から食の学習をしており、充実した取組ができた。	A		
		なかよし班活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>異学年交流で、交流する場を計画的に作る</li> <li>感情交流の場面を意図的に作る</li> </ul>	なかよし班で活動した回数(学期に1回) 感情交流の場面を必ず設ける。	80%	集会等でなかよし班での活動を計画的にできた。行事や研究を絡めて「キラリコーナー」など感情を交流する場を設定することができた。	A		
信頼される学校づくり	進め、家庭よりの地域との連携を密に	ふるさと教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひと、もの、ことを活かした学習</li> <li>各種校外学習、体験学習</li> <li>生活科、社会科、総合的な学習</li> </ul>	地域のひと・もの・ことを活かした学習を行った回数	80%	学年による取組の差が生じており、年間計画の見直しが必要である。	B	ホームページや学校便りを、これからも継続してほしい。	ふるさとキャリア教育の充実に向けた取組を行う。 ・各学年の年間計画の見直し。
		積極的な学校公開の場、情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>東っ子を語る会</li> <li>授業公開日</li> <li>各種便りの発行</li> <li>学校評価の公表</li> </ul>	積極的に学校公開の場をもつ。学校日より、学級だよりの定期的な発行。	80%	積極的に取り組むことができた。今後、さらに連携を深められるような広報や協議会の設定をしていきたい。	A	学校の支援がしたい。仕組み等があればいい。	・ふるさと学習、キャリア教育プログラムの開発。
		保小中の連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども園、中学校との計画的な連携</li> <li>交流活動</li> <li>授業交流(外国語活動、算数等)</li> <li>連携担当者による情報交換</li> </ul>	こども園や中学校との連携計画の推進。	80%	こども園とは低学年とおもちゃまつりや一日入学などで交流を図った。小中合同の取組については、取組を精選することができた。	A	東っ子を語る会が楽しみである。今後も続けてほしい。	
		学校評価の充実、教職員評価システムの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修の充実</li> <li>教職員の連帯感の高揚</li> </ul>	積極的に研修に参加し指導力向上に活かす。	80%	外部講師をよんで話を聴いたり、指導をしていたり、指導力向上を積極的に図った。	A		